

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: KOCOSOL-150
製品タイプ	: 炭化水素の混合物、溶剤
製品コード	: Performance Chemical
製品グループ	: 取引製品

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	: 洗浄剤および添加剤、溶剤
使用上の制限	: 殺生物製品(殺菌剤、害虫処理剤など)

会社情報

製造業者

SK Geo Centric Co., Ltd
03161
KoreaSeoul51, Jong-ro, Jongno-gu (Jongno Tower)
T +82-2-2121-5114

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +82-52-208-2114

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻酔作用)
	誤えん有害性	区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 2

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)	: 危険
危険有害性 (GHS JP)	: 引火性液体及び蒸気 (H226) 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304) 皮膚刺激 (H315) 眠気又はめまいのおそれ (H336) 発がんのおそれの疑い (H351) 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全対策	：使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 容器を密閉しておくこと。(P233) 容器を接地しアースをとること。(P240) 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241) 火花を発生させない工具を使用すること。(P242) 静電気放電に対する措置を講ずること。(P243) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261) 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	：飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。(P301+P310) 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352) 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。(P303+P361+P353) 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313) 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312) 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321) 無理に吐かせないこと。(P331) 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364) 火災の場合：消火するために...を使用すること。(P370+P378) 漏出物を回収すること。(P391)
保管	：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233) 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235) 施錠して保管すること。(P405)
廃棄	：内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)
処理時の追加危険有害性	：通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：物質
化学名	：ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族	100	(9)-2578	既存化学物質	64742-94-5

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

コメント : 以下の UVCB（未知または可変組成、複雑な反応生成物および生物材料）には、ナフタレン（91-20-3）1～5%および 1,2,4-トリメチルベンゼン（95-63-6）1～5%が含まれています。

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 : 眠気又はめまいのおそれ。
症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
火災危険性 : 可燃性液体。
爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

応急処置	： 漏出エリアを換気する。 裸火、火花禁止、禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
緊急対応者	
保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	： 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
環境に対する注意事項	
環境に対する注意事項	： 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
封じ込め方法	： 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
その他の情報	： 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	： データなし
安全取扱注意事項	： 作業所の十分な換気を確保する。 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。 個人用保護具を着用する。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
接触回避	： データなし
衛生対策	： この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
処理時の追加危険有害性	： 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。
保管	
安全な保管条件	： 換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	： データなし
技術的対策	： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	： 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

KOCOSOL-150	
アメリカ合衆国 - ACGIH - ばく露限界値	
現地名	Naphthalene
ACGIH OEL TWA	10 ppm

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

KOCOSOL-150	
留意点 (ACGIH)	TLV® Basis: URT irr; Cataracts; Hemolytic anemia. Notations: Skin; A3 (Confirmed Animal Carcinogen with Unknown Relevance to Humans); BEI
規則参照	ACGIH 2025
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	1,2,4- トリメチルベンゼン # 1,2,4-Trimethylbenzene
許容濃度	120 mg/m ³
	25 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告（2023 年度）産衛誌 65 巻
日本 - ばく露限界値 (管理濃度(厚生労働省))	
現地名	ナフタレン # Naphthalene
管理濃度	10 ppm
規則参照	作業環境評価基準 平成 29 年度版
アメリカ合衆国 - ACGIH - ばく露限界値	
現地名	1,2,4-Trimethyl benzene
ACGIH OEL TWA	10 ppm
留意点 (ACGIH)	TLV® Basis: CNS impair; Hematologic eff
規則参照	ACGIH 2025
アメリカ合衆国 - ACGIH - 生物学的ばく露指数	
現地名	Naphthalene
BEI (BLV)	Parameter: 1-Naphthol + 2-Naphthol - Sampling time: End of shift - Notations: Nq, Ns
規則参照	ACGIH 2025

保護具

- 個人用保護具
- : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 環境へのばく露の制限と監視
- : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態
- : 液体
- 外観
- : Clear, colorless liquid
- 色
- :
- 臭い
- : データなし
- pH
- : データなし
- 融点
- : < -50 °C Source: IUCLID
- 凝固点
- : データなし
- 沸点
- : 174 – 230 °C
- 引火点
- : 64 °C (min 55°C TCC)
- 自然発火点
- : 約 465 °C
- 分解温度
- : データなし

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

可燃性	: データなし
蒸気圧	: 4 mm Hg @37.8°C
相対蒸気密度 (20°C)	: 4.6 Source: UNI. AKRON
相対密度	: 0.8985
密度	: $\geq 881 \text{ kg/m}^3$ (@15.56°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: < 0.1 %
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: 2.9 – 6.1 Source: IUCLID
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発下限界	: 0.6 vol %
爆発上限界	: 7 vol %
動粘性率	: 約 $1.14 \text{ mm}^2/\text{s}$ @25°C
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: ラットにおける LD50 値 4.5 ml/kg , 13.3 ml/kg , 12.3 ml/kg [密度 0.82 g/cm^3 (15°C) (IUCLID, 2000) より、それぞれ換算値 3690 , 10906 , 10086 mg/kg (いずれも EHC 20, 1982) , 7050 mg/kg 体重 (IUCLID, 2000) に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	: ウサギにおける LD50 値は、 5.0 ml/kg [密度 0.82 g/cm^3 (15°C) (IUCLID, 2000) より、換算値 4100 mg/kg] (EHC 20, 1982) のデータが 3 つ、 $>3160 \text{ mg/kg}$ 体重 (IUCLID, 2000) のデータが 2 つあり、それらに基づいて区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
急性毒性 (吸入:気体)	: GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	: ラットにおける LC50 値 (4-8h) $>0.38 \text{ mg/L}$ ($>66 \text{ ppm}$) (EHC 20, 1982) が得られた。飽和蒸気圧濃度 [蒸気圧 $0.07\text{-}1.6 \text{ hPa}$ (20°C、IUCLID, 2000) より換算] は約 $69\text{--}1579 \text{ ppm}$ で、得られた LC50 値は、飽和蒸気圧濃度の 90%以下であるため、「ミストがほとんど混在しない蒸気」として ppmV 濃度基準値で区分した。その結果、LC50 値 (4-8h) $>0.38 \text{ mg/L}$ ($>66 \text{ ppm}$) は、どの区分に該当するのか判断できないため、分類できないとした。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	: ラットにおける LC50 値 (4h) $>2450 \text{ ppm}$, $>580 \text{ ppm}$, $>553 \text{ ppm}$ が得られた。飽和蒸気圧濃度 [蒸気圧 $0.07\text{-}1.6 \text{ hPa}$ (20°C、IUCLID, 2000) より換算] は約 $69\text{--}1579 \text{ ppm}$ で、得られた LC50 値 $>2450 \text{ ppm}$ のみ「ミスト」として区分した。しかし、分子量が特定できないため、mg/L に単位換算できず、分類できないとした。その他のデータも、試験物質の分子量が特定できないため、飽和蒸気圧濃度との比較ができず、蒸気かミストか判断できないため、分類できなかった。

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

KOCOSOL-150	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg Source: IUCLID
LD50 経口	3690 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity), Guideline: other:
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg Source: RTECS
LD50 経皮	4100 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 0.59 mg/l Source: RTECS
ATE JP (経口)	3690 mg/kg BW
ATE JP (経皮)	4100 mg/kg BW
ソルベントナフサ (石油)、重質芳香族 (64742-94-5)	
急性毒性 (経口)	ラットにおける LD50 値 4.5 ml/kg, 13.3 ml/kg, 12.3 ml/kg [密度 0.82 g/cm ³ (15°C) (IUCLID, 2000) より、それぞれ換算値 3690, 10906, 10086 mg/kg] (いずれも EHC 20, 1982) , 7050 mg/kg 体重 (IUCLID, 2000) に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギにおける LD50 値は、5.0 ml/kg [密度 0.82 g/cm ³ (15°C) (IUCLID, 2000) より、換算値 4100 mg/kg] (EHC 20, 1982) のデータが 3 つ、>3160 mg/kg 体重 (IUCLID, 2000) のデータが 2 つあり、それらに基づいて区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラットにおける LC50 値 (4-8h) >0.38 mg/L (>66 ppm) (EHC 20, 1982) が得られた。飽和蒸気圧濃度 [蒸気圧 0.07-1.6 hPa (20°C、IUCLID, 2000) より換算] は約 69~1579 ppm で、得られた LC50 値は、飽和蒸気圧濃度の 90% 以下であるため、「ミストがほとんど混在しない蒸気」として ppmV 濃度基準値で区分した。その結果、LC50 値 (4-8h) >0.38 mg/L (>66 ppm) は、どの区分に該当するのか判断できないため、分類できないとした。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットにおける LC50 値 (4h) >2450 ppm, >580 ppm, >553 ppm が得られた。飽和蒸気圧濃度 [蒸気圧 0.07-1.6 hPa (20°C、IUCLID, 2000) より換算] は約 69~1579 ppm で、得られた LC50 値 >2450 ppm のみ「ミスト」として区分した。しかし、分子量が特定できないため、mg/L に単位換算できず、分類できないとした。その他のデータも、試験物質の分子量が特定できないため、飽和蒸気圧濃度との比較ができず、蒸気かミストか判断できないため、分類できなかった。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg Source: IUCLID
LD50 経口	3690 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity), Guideline: other:
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW Animal: rabbit, Guideline: EPA OTS 798.1100 (Acute Dermal Toxicity)
LD50 経皮	4100 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 0.59 mg/l Source: RTECS

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

皮膚腐食性／刺激性

：皮膚刺激

ヒトでは、26 人の上腕皮膚に 2 日間半密封状態で本物質を投与した 2 つの試験（GLP）において、刺激性はみられない（IUCLID, 2000）が、臨床試験についての記載で「芳香族溶剤はとりわけ重大な皮膚の一時刺激性をもたらす」（EHC 20, 1982）とある。ウサギを用いた 7 つの試験では、EHC 20（1982）における 3 つの試験のうち、ドレイズスコア値 2.79（区分 2 に相当）で「中等度の刺激性」とされる試験と、ドレイズスコア値 2.04、2.17（いずれも区分外：国連分類の区分 3 に相当）で、「中等度の刺激性」とされている 2 つの試験がある。IUCLID（2000）における 4 つの試験（GLP）では、「中等度の刺激性」と「軽度の刺激性」が半一にみられる。以上のことから、安全性を考慮して区分 2 とした。

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)

皮膚腐食性／刺激性

ヒトでは、26 人の上腕皮膚に 2 日間半密封状態で本物質を投与した 2 つの試験（GLP）において、刺激性はみられない（IUCLID, 2000）が、臨床試験についての記載で「芳香族溶剤はとりわけ重大な皮膚の一時刺激性をもたらす」（EHC 20, 1982）とある。ウサギを用いた 7 つの試験では、EHC 20（1982）における 3 つの試験のうち、ドレイズスコア値 2.79（区分 2 に相当）で「中等度の刺激性」とされる試験と、ドレイズスコア値 2.04、2.17（いずれも区分外：国連分類の区分 3 に相当）で、「中等度の刺激性」とされている 2 つの試験がある。IUCLID（2000）における 4 つの試験（GLP）では、「中等度の刺激性」と「軽度の刺激性」が半一にみられる。以上のことから、安全性を考慮して区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

：ウサギを用いた 4 つの試験のうち、EHC 20（1982）における 3 つの試験では「中等度の刺激性」とされており、IUCLID（2000）における 1 試験（GLP）では「軽度の刺激性（Slightly irritating）」とされている。以上のことから、区分 2 とした。眼の回復に関する記載が無いため、細区分は行わなかった。

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性

ウサギを用いた 4 つの試験のうち、EHC 20（1982）における 3 つの試験では「中等度の刺激性」とされており、IUCLID（2000）における 1 試験（GLP）では「軽度の刺激性（Slightly irritating）」とされている。以上のことから、区分 2 とした。眼の回復に関する記載が無いため、細区分は行わなかった。

呼吸器感作性

：データなし。

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)

呼吸器感作性

データなし。

皮膚感作性

：ヒトでのパッチテスト（GLP）において「感作性なし」（IUCLID, 2000）とあり、モルモットを用いた Maximization test（GLP）においても感作性がみられない（IUCLID, 2000）ことから、区分外に該当するが、リスト 2 のデータであることから分類できないとした。

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)

皮膚感作性

ヒトでのパッチテスト（GLP）において「感作性なし」（IUCLID, 2000）とあり、モルモットを用いた Maximization test（GLP）においても感作性がみられない（IUCLID, 2000）ことから、区分外に該当するが、リスト 2 のデータであることから分類できないとした。

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

生殖細胞変異原性 : マウスの骨髄を用いた小核試験 (GLP) で陰性である (IUCLID, 2000) ことから区分外とした。なお、in vitro では、Ames 試験で陰性 (EHC 20, 1982 ; IUCLID, 2000)、細胞遺伝学的試験 (Cytogenetic test) で陽性 (EHC 20, 1982) である。

ソルベントナフサ (石油)、重質芳香族 (64742-94-5)

生殖細胞変異原性	マウスの骨髄を用いた小核試験 (GLP) で陰性である (IUCLID, 2000) ことから区分外とした。なお、in vitro では、Ames 試験で陰性 (EHC 20, 1982 ; IUCLID, 2000)、細胞遺伝学的試験 (Cytogenetic test) で陽性 (EHC 20, 1982) である。
----------	---

発がん性 : 発がんのおそれの疑い
ラット (Wistar) を用いた 12 ヶ月間吸入試験において、6 ヶ月後に用量 1.83 mg/L の雌で乳腺癌がみられ、12 ヶ月後には、用量 0.47 mg/L の雄で脳にグリア芽腫、用量 1.83 mg/L の雄で脾リンパ腫、同じく用量 1.83 mg/L の雌で子宮の平滑筋腫がみられた (IARC 47, 1989)。しかし、この試験について IARC では「試験期間が発がん性を認めるには不十分である」と記載されており、「石油系溶剤全体の評価として」はグループ 3 (区分外に相当) に分類されている (IARC 47, 1989)。以上の結果から、IARC の評価に従い区分外とした。

KOCOSOL-150

IARC グループ	ヒトに対して発がん性が疑われる
国家毒性プログラム(NTP)ステータス	合理的に予見可能なヒトへの発がん性物質

ソルベントナフサ (石油)、重質芳香族 (64742-94-5)

発がん性	ラット (Wistar) を用いた 12 ヶ月間吸入試験において、6 ヶ月後に用量 1.83 mg/L の雌で乳腺癌がみられ、12 ヶ月後には、用量 0.47 mg/L の雄で脳にグリア芽腫、用量 1.83 mg/L の雄で脾リンパ腫、同じく用量 1.83 mg/L の雌で子宮の平滑筋腫がみられた (IARC 47, 1989)。しかし、この試験について IARC では「試験期間が発がん性を認めるには不十分である」と記載されており、「石油系溶剤全体の評価として」はグループ 3 (区分外に相当) に分類されている (IARC 47, 1989)。以上の結果から、IARC の評価に従い区分外とした。
------	---

生殖毒性 : ラットを用いた吸入試験 (GLP) において、用量 106ppm または 364 ppm で、親に影響は認められず、仔にも奇形児の誘発や性比の変化、胚毒性、胎児の成長・発達阻害などの影響はみられない (EHC 20, 1982 ; IUCLID, 2000)。ラットを用いた経口試験 (GLP) において、高用量の 450 mg/kg 体重で、親の著しい体重増加抑制と摂餌量の減少がみられたが、胎児に影響はみられない (IUCLID, 2000)。しかし、親の生殖能に関するデータがなく、分類できないとした。

KOCOSOL-150

NOAEL(動物/オス、F0/P)	35 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: male, Guideline: OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test), Guideline: other:
NOAEL(動物/メス、F0/P)	125 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: female, Guideline: OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test), Guideline: other:

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
生殖毒性	ラットを用いた吸入試験（GLP）において、用量 106ppm または 364 ppm で、親に影響は認められず、仔にも奇形児の誘発や性比の変化、胚毒性、胎児の成長・発達阻害などの影響はみられない（EHC 20, 1982 : IUCLID, 2000）。ラットを用いた経口試験（GLP）において、高用量の 450 mg/kg 体重で、親の著しい体重増加抑制と摂餌量の減少がみられたが、胎児に影響はみられない（IUCLID, 2000）。しかし、親の生殖能に関するデータがなく、分類できないとした。
NOAEL(動物/オス、F0/P)	35 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: male, Guideline: OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test), Guideline: other:
NOAEL(動物/メス、F0/P)	125 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: female, Guideline: OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test), Guideline: other:

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 眠気又はめまいのおそれ
 ラットを用いた吸入試験（8h）において、鼻と眼の刺激性、協調運動の進行性消失（progressive loss of coordination）がみられる（IARC 47, 1989）。ウサギを用いた経皮試験においては、眠気や運動活動の変化がみられる（RTECS, 2006 元文献：NTIS, National Technical Information Service. OTS0534724）。PATTY 5th（2001）では、経口、経皮または吸入経路の急性毒性について、「眼、鼻、のどの刺激性、めまいと吐き気、呼吸困難、中枢神経系の抑制、昏睡」との記載があり、以上の結果から、区分 3（気道刺激性、麻酔作用）とした。

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットを用いた吸入試験（8h）において、鼻と眼の刺激性、協調運動の進行性消失（progressive loss of coordination）がみられる（IARC 47, 1989）。ウサギを用いた経皮試験においては、眠気や運動活動の変化がみられる（RTECS, 2006 元文献：NTIS, National Technical Information Service. OTS0534724）。PATTY 5th（2001）では、経口、経皮または吸入経路の急性毒性について、「眼、鼻、のどの刺激性、めまいと吐き気、呼吸困難、中枢神経系の抑制、昏睡」との記載があり、以上の結果から、区分 3（気道刺激性、麻酔作用）とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : ラット、イヌ、ネコを用いた 13 週間吸入暴露試験において、用量 0.38 mg/L でそれぞれの種に重大な毒性作用はみられない（EHC 20, 1982 ; IARC 47, 1989）。その他ラットを用いた 13 週間吸入暴露試験においても、ガイダンス値上限を上回る用量（1.8, 3.7, 7.4 mg/L）で、臓器重量増加（肝臓と腎臓）と軽い貧血がみられるのみで、臓器への機能障害はみられない（IARC 47, 1989）。よって、吸入経路では、区分外相当である。ラットを用いた 13 週間経口投与試験においては、肝臓や胃、甲状腺、膀胱に影響がみられる（IUCLID, 2000）が、ガイダンス値上限を上回る用量（300, 600, 1000 mg/kg 体重/日）での試験であるため、区分できなかった。なお、PATTY 5th（2001）では、慢性毒性の徴候として「ベンゼンの含有量次第では、中枢神経系の抑制と軽度から重度の造血系の変化がおきる」と記載されている。

KOCOSOL-150	
LOAEC (吸入、ラット、蒸気、90 日)	4.71 mg/l air Animal: rat, Guideline: EU Method B.29 (Sub-Chronic Inhalation Toxicity:90-Day Study)

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

KOCOSOL-150	
NOAEC (吸入、ラット、蒸気、90 日)	2.355 mg/l air Animal: rat, Guideline: EU Method B.29 (Sub-Chronic Inhalation Toxicity:90-Day Study)
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラット、イヌ、ネコを用いた 13 週間吸入暴露試験において、用量 0.38 mg/L でそれぞれの種に重大な毒性作用はみられない（EHC 20, 1982 ; IARC 47, 1989）。その他ラットを用いた 13 週間吸入暴露試験においても、ガイダンス値上限を上回る用量（1.8, 3.7, 7.4 mg/L）で、臓器重量増加（肝臓と腎臓）と軽い貧血がみられるのみで、臓器への機能障害はみられない（IARC 47, 1989）。よって、吸入経路では、区分外相当である。ラットを用いた 13 週間経口投与試験においては、肝臓や胃、甲状腺、膀胱に影響がみられる（IUCLID, 2000）が、ガイダンス値上限を上回る用量（300, 600, 1000 mg/kg 体重/日）での試験であるため、区分できなかった。なお、PATTY 5th（2001）では、慢性毒性の徴候として「ベンゼンの含有量次第では、中枢神経系の抑制と軽度から重度の造血系の変化がおきる」と記載されている。
LOAEC (吸入、ラット、蒸気、90 日)	4.71 mg/l air Animal: rat, Guideline: EU Method B.29 (Sub-Chronic Inhalation Toxicity:90-Day Study)
NOAEC (吸入、ラット、蒸気、90 日)	2.355 mg/l air Animal: rat, Guideline: EU Method B.29 (Sub-Chronic Inhalation Toxicity:90-Day Study)

誤えん有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
ラットを用いた試験（Aspiration ; mortality）において、半数が死亡しており（5/10）（EHC 20, 1982）、EU 分類では、10%以上の濃度で EU 警句 R65 に分類されているがデータ不足で分類できないとした。

KOCOSOL-150	
動粘性率	約 1.14 mm ² /s @25°C
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
誤えん有害性	ラットを用いた試験（Aspiration ; mortality）において、半数が死亡しており（5/10）（EHC 20, 1982）、EU 分類では、10%以上の濃度で EU 警句 R65 に分類されているがデータ不足で分類できないとした。
動粘性率	2.31 mm ² /s @40°C

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性） : 甲殻類（オオミジンコ）による 48h-EC50=0.95mg/L（IUCLID 2000）であることから、区分 1 とした。

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続の影響によって水生生物に毒性
急性毒性区分 1 であり、急速分解性を示すデータが無いことから区分 1 とした。

KOCOSOL-150	
LC50 - 魚 [1]	45 mg/l Source: IUCLID
LC50 - 魚 [2]	6.1 mg/l Test organisms (species): Oncorhynchus mykiss (previous name: Salmo gairdneri)

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

KOCOSOL-150	
EC50 - 甲殻類 [1]	0.95 mg/l
EC50 - 他の水生生物 [1]	2.9 mg/l Test organisms (species): other:
EC50 72h - 藻類 [1]	2.5 mg/l Source: IUCLID
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.9 – 6.1 Source: IUCLID

ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)

水生環境有害性 短期（急性）	甲殻類（オオミジンコ）による 48h-EC50=0.95mg/L（IUCLID 2000）であることから、区分 1 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急性毒性区分 1 であり、急速分解性を示すデータが無いことから区分 1 とした。
LC50 - 魚 [1]	0.58 mg/l Test organisms (species): Oncorhynchus mykiss (previous name: Salmo gairdneri)
LC50 - 魚 [2]	6.1 mg/l Test organisms (species): Oncorhynchus mykiss (previous name: Salmo gairdneri)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.76 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
EC50 - 他の水生生物 [1]	2.9 mg/l Test organisms (species): other:
EC50 72h - 藻類 [1]	2.5 mg/l Source: IUCLID
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.9 – 6.1 Source: IUCLID

残留性・分解性

KOCOSOL-150	
残留性・分解性	急速分解性でない。
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

KOCOSOL-150	
生体蓄積性	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.9 – 6.1 Source: IUCLID
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.9 – 6.1 Source: IUCLID

土壌中の移動性

KOCOSOL-150	
土壌中の移動性	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.9 – 6.1 Source: IUCLID
ソルベントナフサ（石油）、重質芳香族 (64742-94-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.9 – 6.1 Source: IUCLID

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

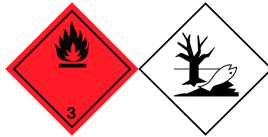
国連番号(UN RTDG) : 1268

正式品名 (UN RTDG) : 石油蒸留物（他に品名が明示されているものを除く。） (Solvent naphtha contains naphthalene)

容器等級(UN RTDG) : III

輸送危険物分類 (UN RTDG) : 3

危険物ラベル (UN RTDG) : 3



クラス (UN RTDG) : 3

少量危険物 (UN RTDG) : 5L

微量危険物 (UN RTDG) : E1

包装指令 (UN RTDG) : P001、IBC03、LP01

ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件 : T4

(UN RTDG)

ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件 (UN RTDG) : TP1、TP29

件 (UN RTDG)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）

1, 2, 4-トリメチルベンゼン

ナフタレン

労働安全衛生法 : 特定化学物質第2類物質、特定第2類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 3号）

ナフタレン

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が重量の1%以下のものを除く。（特化則別表第1）

変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達）

ナフタレン

適用条件:

含有するもの、1重量%以下のものを除く（指針H5基発312号の3）

作業環境評価基準（法第65条の2第1項）

ナフタレン

【改正後 令和7年4月1日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）

トリメチルベンゼン

ナフタレン

石油ナフサ

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が1重量%未満のものを除く。また、運搬中及び貯蔵中において固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物（次の各号のいずれかに該当するものを除く。）を除く。 第1号 令別表第1に掲げる危険物第2号 危険物以外の可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物第3号 酸化カルシウム、水酸化ナトリウム等を含有する製剤その他の物であって皮膚に対して腐食の危険を生ずるもの（施行令第18条第3号、安衛則第30条、令和5年11月9日告示第304号）

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）

トリメチルベンゼン

ナフタレン

石油ナフサ

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が1重量%未満のものを除く。また、運搬中及び貯蔵中において固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物（次の各号のいずれかに該当するものを除く。）を除く。 第1号 令別表第1に掲げる危険物第2号 危険物以外の可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物第3号 酸化カルシウム、水酸化ナトリウム等を含有する製剤その他の物であって皮膚に対して腐食の危険を生ずるもの（施行令第18条第3号、安衛則第30条、令和5年11月9日告示第304号）

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9）

トリメチルベンゼン

ナフタレン

石油ナフサ

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が1重量%未満のものを除く。また、運搬中及び貯蔵中において固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物（次の各号のいずれかに該当するものを除く。）を除く。 1号 令別表第1に掲げる危険物 2号 危険物以外の可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物 3号 酸化カルシウム、水酸化ナトリウム等を含有する製剤その他の物であつて皮膚に対して腐食の危険を生ずるもの（施行令第18条第2号、

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安衛則第 30 条別表第 2)

危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号)

その他の引火点 30℃以上 65℃未満のもの

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 1 号～第 2 号別表第 9)

トリメチルベンゼン (政令番号: 404) (5%未満)

ナフタレン (政令番号: 408) (5%未満)

石油ナフサ (政令番号: 330) (99.9%以上)

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 1 重量%未満のものを除く。(施行令第 18 条の 2 第 2 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2)

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 0.1 重量%未満のものを除く。(施行令第 18 条の 2 第 2 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2)

【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2)

トリメチルベンゼン (5%未満)

ナフタレン (5%未満)

石油ナフサ (99.9%以上)

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 1 重量%未満のものを除く。(施行令第 18 条の 2 第 3 号、令和 5 年 11 月 9 日告示第 304 号)

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 0.1 重量%未満のものを除く。(施行令第 18 条の 2 第 3 号、令和 5 年 11 月 9 日告示第 304 号)

【改正後 令和 8 年 4 月 1 日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2)

トリメチルベンゼン (5%未満)

ナフタレン (5%未満)

石油ナフサ (99.9%以上)

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 1 重量%未満のものを除く。(施行令第 18 条の 2 第 3 号、令和 5 年 11 月 9 日告示第 304 号)

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 0.1 重量%未満のものを除く。(施行令第 18 条の 2 第 3 号、令和 5 年 11 月 9 日告示第 304 号)

特定化学物質特別管理物質 (特定化学物質障害予防規則第 38 条 3)

ナフタレン

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が重量の 1%以下のものを除く。(特化則別表第 1)

特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者 (法第 66 条第 2 項、施行令第 22 条第 1 項)

ナフタレン

適用条件:

含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 1 重量%以下のものを除く。(施行令別表第 3 第 2 号 37、特化則別表第 1 第 23 号の 2)

特殊健康診断対象物質・過去取扱労働者 (法第 66 条第 2 項、施行令第 22 条第 2 項)

ナフタレン

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	適用条件: 含有する製剤その他の物。ただし、含有量が1重量%以下のものを除く。（施行令第22条第2項第24号、特化則第39条第4項別表第5第8号の2） 濃度基準値設定物質（安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号） トリメチルベンゼン 特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧） ナフタレン
消防法	適用条件: 四アルキル鉛中毒予防規則第2条又は第4条から第12条、若しくは特定化学物質障害予防規則第22条、第22条の2、第38条の19、第44条、第47条、第50条又は第50条の2の規定において、作業又は業務に関して、不浸透性の保護衣等の使用が義務付けられているもの・含有量が1重量%以下のものを除く。 ： 指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4） 可燃性固体類 適用条件: 固体で次のイ、ハ又はニのいずれかに該当するもの（1気圧において、温度20℃を超え、40℃以下の間において液状となるもので、次のロ、ハ又はニのいずれかに該当するものを含む） イ. 引火点が40℃以上100℃未満のもの、 ロ. 引火点が70℃以上100℃未満のもの、ハ. 引火点が100℃以上200℃未満で、かつ、燃焼熱量が34kJ（キロジュール）／g以上のもの、ニ. 引火点が200℃以上で、かつ、燃焼熱量が34kJ（キロジュール）／g以上で、融点が100℃未満のもの（危険物令別表4備考5）
大気汚染防止法	： 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申） ナフタレン 適用条件: 排気 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 揮発性有機化合物 適用条件: 排気 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（平成14年度VOC排出に関する調査報告） 揮発性有機化合物 適用条件: 排気
海洋汚染防止法	： 有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1） トリメチルベンゼン ナフタレン 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） ナフタレン 適用条件: 粗製のものに限る。
外国為替及び外国貿易法	： 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 イに掲げる有機溶剤を含む物 適用条件: （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】ハロゲン化されたも

安全データシート

KOCOSOL-150

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	のを除く 0.1 重量%以上含む物 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項 環式炭化水素 輸出貿易管理令別表第 2 (輸出の承認) イに掲げる有機溶剤を含む物 適用条件: (廃棄物) 【特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)】ハロゲン化されたもの のを除く 0.1 重量%以上含む物
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	: 特定有害廃棄物 (法第 2 条第 1 項第 1 号イ、平成 30 年 6 月 18 日省令第 12 号) イに掲げる有機溶剤を含む物 適用条件: ハロゲン化されたものを除く 0.1 重量%以上含む物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) トリメチルベンゼン (管理番号: 691) (5.0%) ナフタレン (管理番号: 302) (5.0%) 適用条件: 含有する製品は、第 1 種指定化学物質質量の割合が 1 質量%以上であって、次の各号のいずれにも該当しないもの。(施行令第 5 条) 1 事業者による取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品 2 第 1 種指定化学物質が密封された状態で取り扱われる製品 3 主として一般消費者の生活の用に供される製品 4 資源の有効な利用の促進に関する法律第 2 条第 4 項に規定する再生資源
その他の規制情報	
規則参照	: 収載あり—米国 TSCA (有害物質規制法)インベントリー - ステータス: アクティブ。 収載あり—カナダ DSL (国内物質リスト)。 収載あり—INSQ (メキシコ既存化学物質リスト)

16. その他の情報

SK Geo Centric Co., Ltd は、この (M)SDS に含まれるデータと危険性を認識し理解するために、この (M)SDS の各顧客または受領者に対して、この (M)SDS を注意深く調べ、必要に応じて適切な専門家に相談することをお勧めします。製品に関連付けられています。ここに記載されている情報は誠意を持って提供されており、上記の発効日時点で正確であると考えられています。ただし、明示または黙示を問わず、いかなる保証も与えられません。規制要件は変更される可能性があり、場所によって異なる場合があります。購入者/ユーザーは、自分の活動がすべての連邦、州、地方、または地域の法律に準拠していることを確認する責任があります。ここに記載されている情報は、出荷された製品のみに関するものです。製品の使用条件はメーカーの管理下にならないため、この製品を安全に使用するために必要な条件を決定するのは購入者/ユーザーの義務です。メーカー固有の (M)SDS などの情報源が急増しているため、当社以外の情報源から入手した (M)SDS については責任を負いません。別のソースから (M)SDS を入手した場合、または所有している (M)SDS が最新かどうか分からない場合は、最新バージョンについてお問い合わせください。